

## 第2学年国語科学習指導案

単元名 人物紹介パンフレットを作ろう

教材名 教材1 「人物紹介パンフレットを作ろう」(光村図書「国語2」)  
「パンフレットの作り方」(東京書籍「新しい国語3」でも代用可能)  
教材2 「走れメロス」太宰治(光村図書「国語2」,東京書籍「新しい国語2」)

### 1 単元について

佐賀県の中学2年生の実態として、これまでの佐賀県小・中学校学習状況調査においては、主に「読むこと」「書くこと」「言語事項」の二領域一事項に課題が見られた。「書くこと」では、主に「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことに課題が見られた。また、「読むこと」では、主に「人物の描写に注意して文章を読み味わう」こと、及び「言語事項(2)イ」の「漢字(特に訓読みで用いられる漢字)を書く」ことにも同様に課題が見られた。そこで、本単元では、「パンフレットを作る」という言語活動を通して、「書くこと」の「資料から必要な情報を取り出し、伝えたいことを明確にして書く」ことと、「読むこと」の「人物の描写に注意して文章を読み味わう」ことについての解決を図ることを意図した。

本単元では、光村図書「国語2」に掲載されている「人物紹介パンフレットを作ろう」(東京書籍では「新しい国語3」「パンフレットの作り方」と、「走れメロス」を主教材として取り扱う。「走れメロス」は、その主題の明確さや、ドラマチックな物語展開、個性的な登場人物の造形など、文学作品としての魅力にあふれており、教材としての価値も高い作品である。そこで、パンフレットに書くための「伝える内容」を取材する対象として、小説教材「走れメロス」を用いることにした。生徒は、人物描写を読んで、自分の中に人物像を思い描き、その思い描いた人物像を他者に紹介する手立てとしてパンフレット作りに取り組む。パンフレット作りに取り組む中で、目的や読み手に応じて必要な情報を整理したり、伝えたいことが明確に伝わるような表現や紙面構成の工夫をしたりする力をはぐくみたいと考えている。

本単元では、「書くこと」の力を身に付けさせるために、「表現の仕方を工夫して、人物紹介パンフレットを作る」という言語活動を設定した。この言語活動は、新学習指導要領「B書くこと」の(2)に位置付けられている言語活動例の「A表現の仕方を工夫して、詩歌をつくったり物語などを書いたりすること」を基にしたものである。人物紹介パンフレットを作るという言語活動を通して、「書く力」と「読む力」を高め、「分かりやすく表現する力」や「人物像を描く力」を養うことをねらっている。そのために、生徒の主体的な学習活動を促すことで言語活動の充実を図り、生徒の思考を促進するワークシートを工夫して、個に応じた指導を充実させたい。

### 2 単元の指導目標

- (1) 主体的にパンフレット作りに取り組み、作ったパンフレットを互いに読み合い、紙面構成や表現の工夫、情報の活用の仕方などについて意見を交流し、自分の考えを広げようとする態度を育てる。
- (2) 自分の思い描いた人物像を友達に伝えるために、情報を選び、表現や紙面構成を工夫して分かりやすく書く能力を身に付けさせる。
- (3) 人物像を思い描くために、登場人物についての言動や心情の描写を読み、根拠を明確にして、自分の考えをまとめる能力を身に付けさせる。

### 3 単元の評価規準

ア 国語への関心・意欲・態度	1 主体的にパンフレット作りに取り組み，作ったパンフレットを互いに読み合い，表現や紙面構成の工夫，情報の活用の仕方などについて意見を交流し，自分の考えを広げようとしている。 【B 書くこと(1)オ】
イ 書く能力	1 企画を立てて必要な情報を収集し，整理，編集している。 【B 書くこと(1)ア】 2 伝えたいことが明確に伝わるように表現や紙面構成を工夫している。 【B 書くこと(1)イ，ウ】 3 書いたパンフレットを相互評価し，自分の考えを広げている。 【B 書くこと(1)オ】
ウ 読む能力	1 人物像を思い描くために，登場人物の言動や心情の描写を注意して読み，自分の考えをまとめている。 【C 読むこと(1)イ，ウ】
エ 言語についての知識・理解・技能	1 抽象的な概念を表す語句や類義語・対義語などについて理解し，語感を磨き，語彙を豊かにしている。【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項 イ(イ)】

### 4 指導と評価の計画(全9時間)

次時	時間	主な学習活動	指導上の留意点	評価規準
一	1	1 モデルとなるポスターやパンフレット，リーフレットなどを比べ読みして，パンフレットやリーフレットの形態や特徴を知る。 2 書く力チェックシートに回答し，学習について見通しをもつ。	モデルとなるポスターやパンフレット，リーフレットを数部用意する。太宰治関連のものも複数用意する。  学習の目標と流れを確認させる。	ア - 1 イ - 1 イ - 2
	2	3 「人物紹介パンフレットを作ろう」を読み，学習計画を立てる。	単元「意見文を書こう」での学習を想起させ，計画を立てさせる。	ア - 1
二	3	4 「走れメロス」を読んで登場人物を確認し，紹介する人物を決める。	登場人物についての描写や説明にマ - キングをさせながら文章を読ませる。	ア - 1 ウ - 1 エ - 1
	4	5 必要な情報を収集し，情報を整理，編集する。	ワークシートを用いて登場人物についての情報を整理，編集させる。	ア - 1 イ - 1 ウ - 1
	5	6 レイアウトを考える。	図表や本文引用など，情報を整理，再構成し，パンフレットの紙面構成を工夫させる。	ア - 1 イ - 1 イ - 2
	6	7 パンフレットの下書きをする。	準備した資料を手元に置かせ，活用を促す。	イ - 3
	7	8 配色や表記を工夫して，パンフレットを完成する。	色鉛筆やサインペンなどの利用により，読みやすく仕上げさせる。	
三	8	9 相互評価をする。	評価用付せんを1人18枚(3色各6枚ずつ)用意し，コメントを書いてはり付けさせる。	ア - 1 イ - 3
	9	10 書く力チェックシートに回答し，単元の学習を振り返る。	学習計画表や書く力チェックシートを参照し，学んだことを文章表記させる。	

5 - 1 1 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 書く力チェックシートに回答させ、身に付けたい力について考えさせる。
- ・ パンフレットの形式や特徴などについて理解を深めさせ、作成への意欲を喚起する。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 〔Cの状況の生徒への手立て〕
導入	1 本時の目標を知る。		学習の目標と流れを確認させる。	
パンフレットについて学び、単元の学習課題を設定しよう				
展開	<p>2 ポスターとパンフレットやリーフレットのモデルを比較し、作成するパンフレットやリーフレットの形式や特徴について理解を深める。</p> <p>3 パンフレットやリーフレットの形式や特徴について調べ、グループで話し合い、ワークシートに記入する。</p> <p>4 グループで話し合って記入したことを報告し合い、パンフレットやリーフレットの形式や特徴について全体でまとめる。</p> <p><u>発言の例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 宣伝・広告・紹介等に使う紙</li> <li>・ 折りたたみ式の1枚の小型印刷物</li> <li>・ 凝った表現技法</li> <li>・ 見やすく面白い など</li> </ul>	<p>パンフレット等モデル資料</p> <p>ワークシート</p>	<p>参考となるポスターや太宰治関連の図書の紹介のパンフレットやリーフレットなど数点を用意し、比べ読みさせる。</p> <p><u>比較の観点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 目的や用途 ・ 形態</li> <li>・ 内容 ・ 構成 など</li> </ul> <p>ワークシートについては、グループごとにパンフレットやリーフレットのモデル資料を指定し、担当した資料の形式や特徴について調べ、記入させるようにする。</p> <p>比べ読みした結果を学級全体で共有させるために、個人で考えたことをグループで出し合い、その結果を学級全体で発表させる。</p> <p>他のグループが担当して調べたパンフレットやリーフレットのモデル資料の形式や特徴については、報告を聞きながらワークシートに記入するよう指示する。</p> <p>簡単にまとめさせる。</p> <p><u>まとめ方の例</u></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ よさ等の情報を伝える。</li> <li>・ 1枚の紙で作る。</li> <li>・ 印象深い表現で読みたくなる。</li> <li>・ ポスターよりは情報量が多い。</li> </ul> <p>パンフレットやリーフレットの形式や特徴について理解を深めさせる。</p>	<p>ア - 1 ポスターとパンフレットやリーフレットのモデルを比べ読みし、パンフレットやリーフレットの形式や特徴について考えようとしている。</p> <p>【学習状況の観察】</p> <p>【ワークシート の記述】</p> <p>イ - 1・イ - 2 パンフレットやリーフレットの形式や特徴について理解している。</p> <p>【発言内容】</p> <p>【ワークシート の記述】</p> <p>【学習計画表の記述】</p> <p>パンフレットやリーフレットの目的や形態、内容、構成などの特徴が記述してある部分にマ - カ - で印を付けさせる。</p>
まとめ	<p>5 書く力チェックシートに回答し、身に付けたい力について考える。</p> <p>6 学習の見通しをもつ。</p>	<p>書く力チェックシート</p> <p>学習計画表</p>	<p>単元「意見文を書こう」で身に付けた力を想起させる。</p> <p>学習計画表に、学習課題を記入させ、まとめさせる。</p>	

5 - 2 2 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 「人物紹介パンフレットを作ろう」(教材1)を読ませ、パンフレット作成の手順を学ばせる。
- ・ 学習の計画を立てさせ、学習の見通しをもたせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習の目標と流れを確認させる。	
	1 パンフレット作りの手順を学ぼう 2 学習計画を立てよう			
展開	2 ワークシート の記入例を見て、パンフレットを作るのにどのような作業が必要であるのか考える。  3 教材1「人物紹介パンフレットを作ろう」を読み、ワークシートを対応させて具体的な学習活動をイメージする。  4 学習課題について、学習計画を立てる。  学習計画例(全9時間) ・モデル学習をする ・情報を収集、整理、編集する ・作品を書く(下書き 推敲) ・作品を仕上げる(清書) ・相互評価をする ・学習を振り返る	ワークシート 記入例 ワークシート 記入例  教材1  学習計画表	登場人物についての描写や説明を読んで想像を膨らますワークシート 記入例、レイアウトを考えるワークシート 記入例を提示し、簡潔に説明する。 ワークシートの作業が、教科書に示してある手順のどの段階と対応しているのか、教科書に記入させる。  単元「意見文を書こう」での学習計画を参考にすようアドバイスする。情報を共有させるために、個人で立てた計画をグループ内で紹介し合い、その主なものを学級全員に対して発表させるようにする。 まとめに必要な、学習活動を書いた短冊式のマグネットシートを準備しておく。 学習計画表には、1時、2時、8時、9時の学習内容をあらかじめ記入しておき、3時から7時の内容について話し合って記入させるようにする。	ア-1 設定した学習課題に基づいて学習計画を立てようとしている。 【学習計画表の記述】 【話合いの観察】 【発言内容の把握】  教科書 P48 の「学習の見通しをもとう」の表を見るように指示し、具体的な活動をイメージさせる。
まとめ	5 本時の学習を振り返り、書くことの基本的な手順を確認するとともに、次時の見通しをもつ。	学習計画表	協議した学習計画を学習計画表に記入させる。目標に沿って学習ができたかについて振り返りさせる。	ア-1 パンフレット作りの手順を理解し、学習計画を立て、学習の見通しをもっている。 【学習計画表の記述】

5 - 3 3 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 「走れメロス」(教材2)を読ませ、パンフレット作成に必要な情報を集めさせる。
- ・ 「走れメロス」を読ませ、登場人物についての説明や、言動や心情の描写に気付かせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を用いて、学習の目標と流れを確認させる。	
	1 「走れメロス」を読んで、登場人物を把握しよう 2 パンフレットで紹介する人物を決めよう			
展開	2 教材2「走れメロス」の登場人物を挙げる。 3 本文を、登場人物ごとに色分けしてマ - キングする。 <u>主要な登場人物</u> ・メロス ・王 ・セリヌンティウス ・妹 ・婿 ・山賊 ・フィロストラトス ・少女 ・ゼウス、神々、神	教材2 色鉛筆 国語辞典  ワークシート	グループごとに登場人物を挙げさせる。 登場人物として挙げたものを、主要な登場人物と、背景人物とに分け、登場人物ごとにマ - キングの色を決めさせる。 難語句については辞書を引かせて明確に理解させる。 登場人物についての記述のうち、性格の説明や他の人物との相関関係の説明、会話や行動、心情描写(心情語彙、表情、様子の描写)など、カテゴリーごとに色分けできそうなものについては、色を変えるように助言する。  「(選んだ登場人物)はこういう人物です。」と一言で表現させ、根拠に当たる部分を探させる。	ア - 1・ウ - 1 人物像を思い描くために、登場人物の言動や心理の描写を注意して読もうとしている。 【活動の観察】 【教材2のマ - キング】 【ワークシート の記述】 エ - 1 抽象的な概念を表す語句や類義語・対義語などについて理解している。 【活動の観察】 【教材2のマ - キング】 【ワークシート の記述】
	4 自分が紹介したい登場人物と伝える内容を決める。			
まとめ	5 本時の学習を振り返り、学んだことを明らかにして、次時の見通しをもつ。	学習計画表	目標に沿って学習ができたか振り返りをさせ、個人で学習計画表に記入させる。 学習計画表を用いて、次時は情報の整理、編集に取り組むことを確認させる。	

5 - 4 4 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ パンフレット作成に必要な情報を収集させ，整理，編集させる。
- ・ 目的に応じた表現の工夫をさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 〔Cの状況の生徒への手立て〕
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を用いて，学習の目標と流れを確認させる。	
紹介する人物について情報を集めよう				
展開	2 教材2「走れメロス」を読んで，紹介する人物について分かることをワークシート の表にまとめる。	教材2 ワークシート ワークシート 記入例 国語辞典	登場人物についての情報を，表にまとめさせ，その情報から想像できることについて，根拠を明らかにしよう説明する。 ワークシート の記入例を利用して具体的に説明する。 <u>表の項目</u> ・「根拠となる表現」 ・「読み取れる人物像とその説明」 ・「編集」(表現の工夫) <u>表現の工夫</u> ・読み取った情報を図解したり，分類したりする ・グラフで示す ・ランキングで示す ・キャッチコピーとして加工する など	ウ - 1 人物像を思い描くために，登場人物の言動や心理の描写を注意して読み，自分の考えを，根拠を明らかにしてまとめている。 【ワークシート の記述】  ア - 1・イ - 1 集めた情報を，目的や意図に応じて整理，編集しようとしている。 【ワークシート の記述】  ワークシートや補助資料を使いながら具体的に個別指導する。
まとめ	3 本時の学習を振り返り，学んだことを明らかにして，次時の見通しをもつ。	学習計画表	グループ内でまとめたことを紹介し合い，表現の工夫を共有させる。目標に沿って活動ができたかを振り返り，学習計画表を記入させる。学習計画表を用いて，次時は割り付け(レイアウト)に取り組むことを確認させる。	

5 - 5 5 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 集めた情報を，作成するパンフレットの目的や意図に応じて，整理，編集させる。
- ・ 図解や表現技法の特徴を知らせ，目的に応じて使えるようにする。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を用いて，学習の目標と流れを確認させる。	
	集めた情報を整理，編集して，割り付け（レイアウト）を考えよう			
展開	2 前時までに集めた情報を，作成するパンフレットの目的や意図に応じて，整理，編集する。	ワークシート ワークシート ワークシート 記 入例	作成するパンフレットの目的や編集意図を確かめさせ，これに応じた表現の工夫をさせるようにする。 表現の工夫については，以下のようなことを説明する。 <u>効果的な表現の工夫</u> ・ 疑問提示型 ・ リズム重視型 ・ 多義語活用型 ・ 比喩表現型 など	ア - 1・イ - 1 集めた情報を目的や意図に応じて，表現を工夫し，整理，編集している。 【ワークシート の記述】
	3 作成するパンフレットの目的や意図に応じて，割り付け（レイアウト）を考える。		教科書の割り付けの例を参考にして，自分が作成するパンフレットの割り付けを考えさせる。 下書きではないことを知らせる。	イ - 2 伝えたいことが明確に伝わるように効果的な表現の工夫や，紙面構成を考えている。 【ワークシート 記述】 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;">目的や意図に応じた表現の工夫をさせる。</div>
まとめ	4 本時の学習を振り返り，学んだことを明らかにして，次時の見通しをもつ。	学習計画表	グループ内で作業の経過を報告し合わせ，アイデアを共有させる。 割り付け（レイアウト）をする際のよいアイデアがあれば，学習計画表に記録をさせる。 学習計画表を用いて，次時は下書きに取り組むことを確認させる。	

5 - 6 6 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 効果的な表現の工夫を意識させながら，割り付け(レイアウト)を工夫し，パンフレットの下書きを完成させる。
- ・ 効果的な表現の工夫について交流させ，アイデアを広げさせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を用いて，学習の目標と流れを確認させる。	
割り付け(レイアウト)を工夫してパンフレットの下書きを完成しよう				
展開	2 ワークシートを利用して，割り付け(レイアウト)を決め，パンフレットの下書きをする。	学習計画表 ワークシート ワークシート 国語辞典	割り付けを決める際に，自分が最も強調したい記事をどこに割り付けるかなど，内容と割り付けを関連付けて考えるように指示する。  ワークシートのチェックリストを利用して，内容の漏れなどがないように確認することを指示する。	ア - 1・イ - 2 割り付け(レイアウト)を工夫してパンフレットの下書きをしている。 【活動の観察】 【ワークシートの記述】 【パンフレット下書き】  A 評価の生徒作品を提示するなどしてモデルを示しながら，具体的にアドバイスする。
まとめ	3 本時の学習を振り返り，学んだことを明らかにして，次時の見通しをもつ。	学習計画表	目標に沿って学習ができたか，振り返りをさせる。グループで作業の経過を報告させ，考えを広げさせる。 グループ内での報告で，参考になった表現の工夫を，代表の生徒に学級全体で発表させ，更に考えを広げさせ，個人で学習計画表に記録をさせる。 学習計画表を用いて，次時は推敲，清書に取り組むことを確認させる。	ア - 1・イ - 3 パンフレットの書き方の工夫について交流して考えを広め，自分の表現に生かそうとしている。 【発言の内容】 【学習計画表の記述】

5 - 7 7 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 学んだことを活用してパンフレットを完成させる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 :Cの状況の生徒への手立て:
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を用いて，学習の目標と流れを確認させる。	
配色や表記を工夫して，パンフレットを完成させよう				
展開	2 配色や表記を工夫して，パンフレットを作成する。  3 完成したパンフレットを自己評価し，工夫した点について自己評価票に記入する。	パンフレットの下書き サインペン 色鉛筆  自己評価票	あらかじめ，参考作品を黒板に掲示しておく。  下書きに忠実に作成するだけでなく，新たな工夫点に気付いたら，よりよい作品となるように取り組んでよいことを伝える。 できるだけ，この時間で完成できるように時間の見通しなどを伝える。  完成したパンフレットと自己評価票は回収する。 どうしても，時間内に完成しなかった生徒については，次時にパンフレット紹介タイムを行うことを伝え，次時までには必ず完成させておくことを確認する。	ア - 1 配色や表記を工夫して，学んだことを活用しながらパンフレット作りに意欲的に取り組んでいる。 【作成活動の観察】  ワークシートを使いながら具体的に個別指導する。
まとめ	4 本時の学習を振り返り，学んだことを明らかにして，次時の見通しをもつ。	学習計画表	目標に沿って学習ができたかを振り返らせ，学習計画表に記入させる。 次時はパンフレット紹介タイムを行い，お互いに評価し合うことを伝える。	

5 - 8 8 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ パンフレット紹介タイムで、相互評価を通して、自分と友達のパンフレットのよさに気付かせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 Cの状況の生徒への手立て
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表	学習計画表を用いて、学習の目標と流れを確認させる。	
	パンフレット紹介タイムで、お互いに評価し合おう。			
展開	2 パンフレット紹介タイムの進め方についての説明を聞く。  3 グループ内でパンフレットを交換し、友達のパンフレットをお互いに評価する。  4 グループ以外の友達と自由にパンフレットを交換し、友達のパンフレットを評価する。  5 自分のパンフレットに貼られた評価の付せんに目を通し、自分の作品についての客観的な評価を確かめる。  6 パンフレットについての教師の評価を聞く。	自己評価票 パンフレット  評価メモ 評価メモの記入例 付せん 18枚 (各色6枚)  評価シート	グループ全員のパンフレットを評価し、評価メモと配布された付せんに「よかった点」と「アドバイス」を記述することと自分のパンフレットを自己評価することを伝える。 あらかじめ、生徒一人あたりに、3色の付せんを各色6枚ずつ準備し、評価メモに添付して配布する。 記入する内容を次のように指示をする。 ピンク色・・・表現の工夫 黄色・・・内容のよかった点 青色・・・アドバイス点 グループ全員の評価が終わったら、違うグループの3名の友達と相互評価させ、全部で6名分の評価をさせる。 友達に書いてもらった付せんに、各自の評価シートに直接はり付けて一覧できるようにさせ、友達から評価をもらって考えたことを記入させる。 学級の参考となりそうなパンフレット数点を選び、全員に紹介する。	ア-1・イ-3 友達の書いたパンフレットについてよい点を評価し、改善点を助言している。 【自己評価票の記述】 【評価メモ・付せんの記述】  ワークシートを使いながら具体的に個別指導する。
まとめ	7 本時の学習を振り返り、学んだことを明らかにして、次時の見通しをもつ。	学習計画表	振り返りをさせ、学習計画表の記入をさせる。 次時に行う学習のまとめをするために、これまで使用したワークシートの準備を確認させる。	

5 - 9 9 / 9時の指導計画

(1) 指導目標

- ・ 本単元の学習を振り返らせ、自分が身に付けた力の意識化を図る。
- ・ 身に付けた力を活用する場面を想定させ、今後の活用への意欲をもたせる。

(2) 展開

過程	学習内容及び学習活動	教材・資料	指導上の留意点	評価規準と評価方法 〔Cの状況の生徒への手立て〕
導入	1 本時の目標を知る。	学習計画表 パンフレット 自己評価票 評価シート	学習計画表を用いて、学習の目標と流れを確認させる。	
学習を振り返り、学んだことを確かめよう				
展開	2 グループで本単元の学習について話し合う。  <u>話し合う際の視点</u> ・パンフレットを作ったことについて ・この学習で、どのような力が身に付いたかについて ・この学習で身に付けた力を活用できそうな場面について ・その他、単元の学習を終えての感想  3 学級全体で報告し合い、更に考えを深める。  4 書く力チェックシートに回答し、身に付けた力と今後伸ばしていきたい力について考える。	学習計画表 パンフレット  自己評価票 評価シート   書く力チェックシート	生徒作品のパンフレットは各自に持たせておく。パンフレットの自己評価票には、教師の評価コメントを事前に記入しておく。 グループで司会者を中心に話し合いを進めさせる。話し合う際の視点については、活動に入る前に確認し、順序にこだわらず、話題としやすいものから話し始めてよいことを伝える。  これまで使用したワークシートを参照しながら、具体的な学習活動を振り返って、書く力チェックシートに回答させる。	ア - 1 話し合いに積極的に参加し、自分の意見を述べている。 【話し合い活動の観察】  ア - 1 本単元の学習を通しての自分の変容を自覚して書く力チェックシートに回答している。 【書く力チェックシートの記述】
まとめ	5 話し合ったことを参考にして学習の振り返りを文章に書く。	学習計画表	目標に沿った学習ができたか振り返らせる。数名の生徒に振り返ったことを発表させ、教師がコメントする。	ア - 1 学んだ力を活用する場を想定して、学習計画表に書いている。 【学習計画表の記述】  ワークシートを使いながら具体的に個別指導する。

補助資料として、以下のような文献を用いることも有効である。

- 井上一郎 『誰もがつけたい説明力』明治図書、pp122～123  
永山嘉昭 『説得できる図解表現 200の鉄則』日経B P社